

令和7年度大規模地震時医療活動訓練 青森県の訓練概要について

1 目的

日本海溝・千島海溝周辺海溝型地震を想定し、「日本海溝・千島海溝周辺型地震における具体的な応急対策活動に関する計画」（令和5年5月23日中央防災会議幹事会決定）に基づき、国、地方公共団体等が連携して、大規模地震時医療活動に関する総合的な実動訓練を実施し、当該活動に係る組織体制の機能と実効性に関する検証を行うとともに、防災関係機関相互の協力の円滑化を図る。

2 実施日

令和7年9月5日（金）・6日（土）

3 訓練想定

令和7年9月5日（金）●時に、日本海溝・千島海溝周辺海溝型地震が発生し、北海道、青森県、岩手県及び宮城県に甚大な被害が発生

4 参加機関（予定）

内閣官房、内閣府、警察庁、消防庁、厚生労働省（DMAT事務局含む）、国土交通省、海上保安庁、防衛省、国立研究開発法人防災科学技術研究所、国立研究開発法人宇宙航空研究開発機構、日本赤十字社、東日本高速道路株式会社、北海道、青森県、岩手県、宮城県ほか

5 主な訓練項目及び実施主体

- ・地域医療活動訓練（本部運営、地域医療搬送、参集拠点設置、SCU運営等）（都道府県（支援：DMAT事務局））
- ・DMATの参集、活動訓練（DMAT事務局、都道府県）
- ・広域医療搬送訓練（内閣府、厚生労働省・DMAT事務局、防衛省、都道府県ほか）

大規模地震時医療活動訓練の実施状況

区分	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度	令和8年度
訓練日	R2.9.13	R3.10.30	R4.10.1	R5.9.30	R6.9.28	R7.9.5 R7.9.6	
想定地震	日本海溝・千島海溝周辺海溝型地震	東日本大震災と同様の災害	南海トラフ地震	南海トラフ地震	首都直下地震	日本海溝・千島海溝周辺海溝型地震	南海トラフ地震
被災地	北海道	岩手県 宮城県 福島県	静岡県 愛知県 三重県 和歌山県	徳島県 香川県 愛媛県 高知県 大分県 宮崎県	埼玉県 千葉県 東京都 神奈川県	北海道 青森県 岩手県 宮城県	未定

訓練概要

1 災害想定

○地震の概要

- ・発生日時 令和7年9月5日（金） 11時00分頃
- ・震央地名 青森県東方沖
- ・地震の深さ 40 km
- ・規模 マグニチュード9.1（最大震度6強）

○警報等

- ・9月5日（金）11時03分、青森県太平洋沿岸、岩手県、宮城県、北海道太平洋東部に大津波警報が発表。11時38分に太平洋沿岸を中心に津波が到達した。
- ・東北電力（株）東通原子力発電所に関する原子力災害警戒事態が発表。
- ・同日18時00分には、青森県太平洋沿岸、青森県日本海沿岸、岩手県、宮城県、北海道太平洋沿岸中部及び北海道太平洋側東部に出ていた大津波警報が津波警報に切り替わった。
- ・9月6日（土）4時00分までに、全ての津波警報及び津波注意報は解除。

青森県における日本海溝・千島海溝周辺海溝型地震の災害想定

令和3年度青森県地震・津波被害想定調査結果（太平洋側海溝型地震）より

1. 地震による揺れの予測

震源に近い太平洋沿岸の地域の広範囲で震度6弱や震度6強が予測される。

震源から遠い内陸部でも広範囲で震度5強の揺れが予測され、津軽平野などで震度6弱が予測。

最大震度6強 4市／13市町村

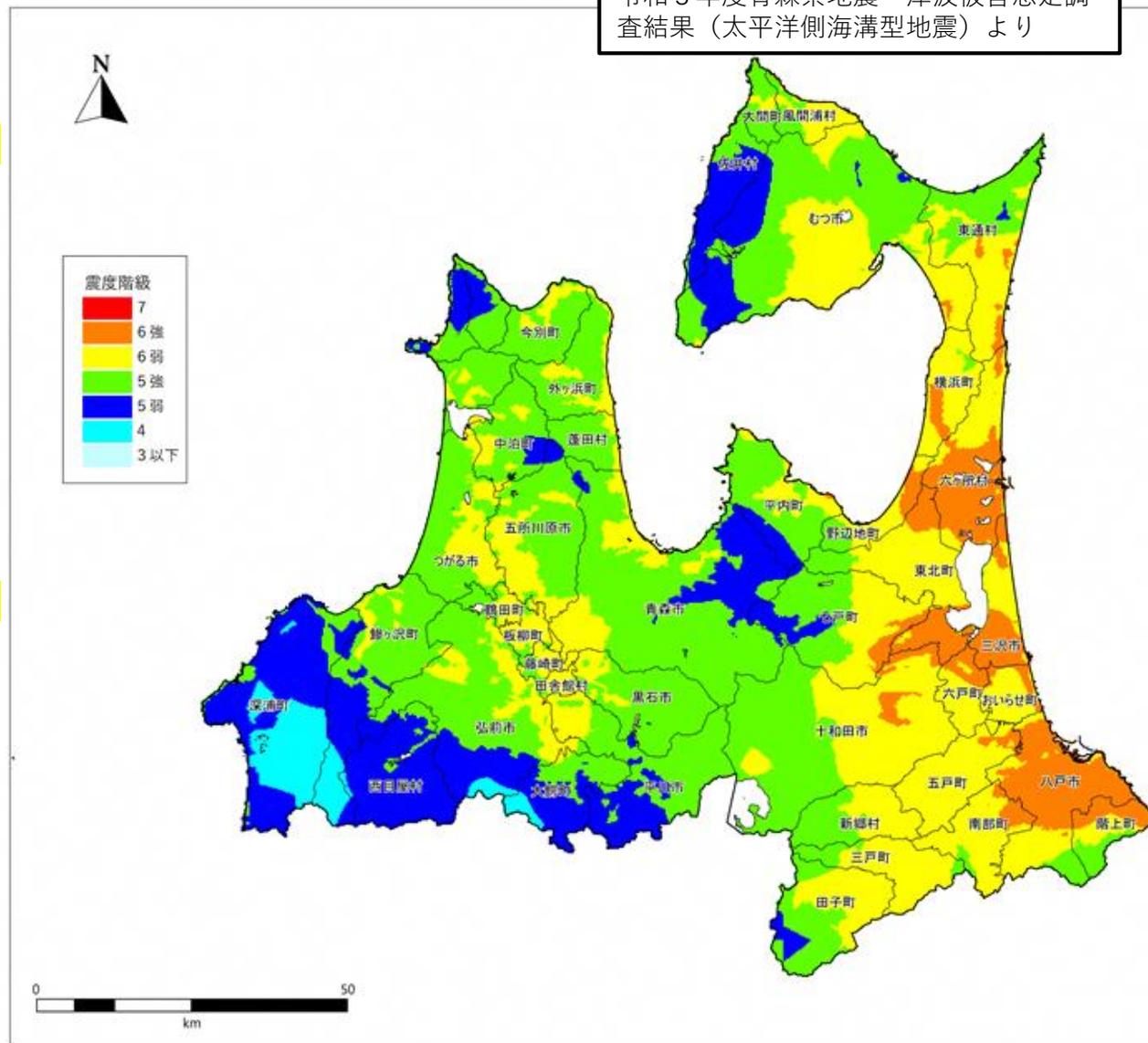
最大震度6弱 6市／14市町村

2. 津波による浸水予測

地震発生後、本県沿岸に津波が到達することが予測されており、特に太平洋側で2.5メートル以上の津波が想定される。

○八戸、青森、むつ市における最大津波高等

	最大津波高	津波到達時間
八戸市	26.1m	38分
青森市	5.4m	96分
むつ市	5.4m	160分



災害想定

2 震度分布（市町村最大震度）

区分		最大震度
東青地域	青森市	6弱
	平内町	6強
	今別町	6弱
	蓬田村	6強
	外ヶ浜町	6弱

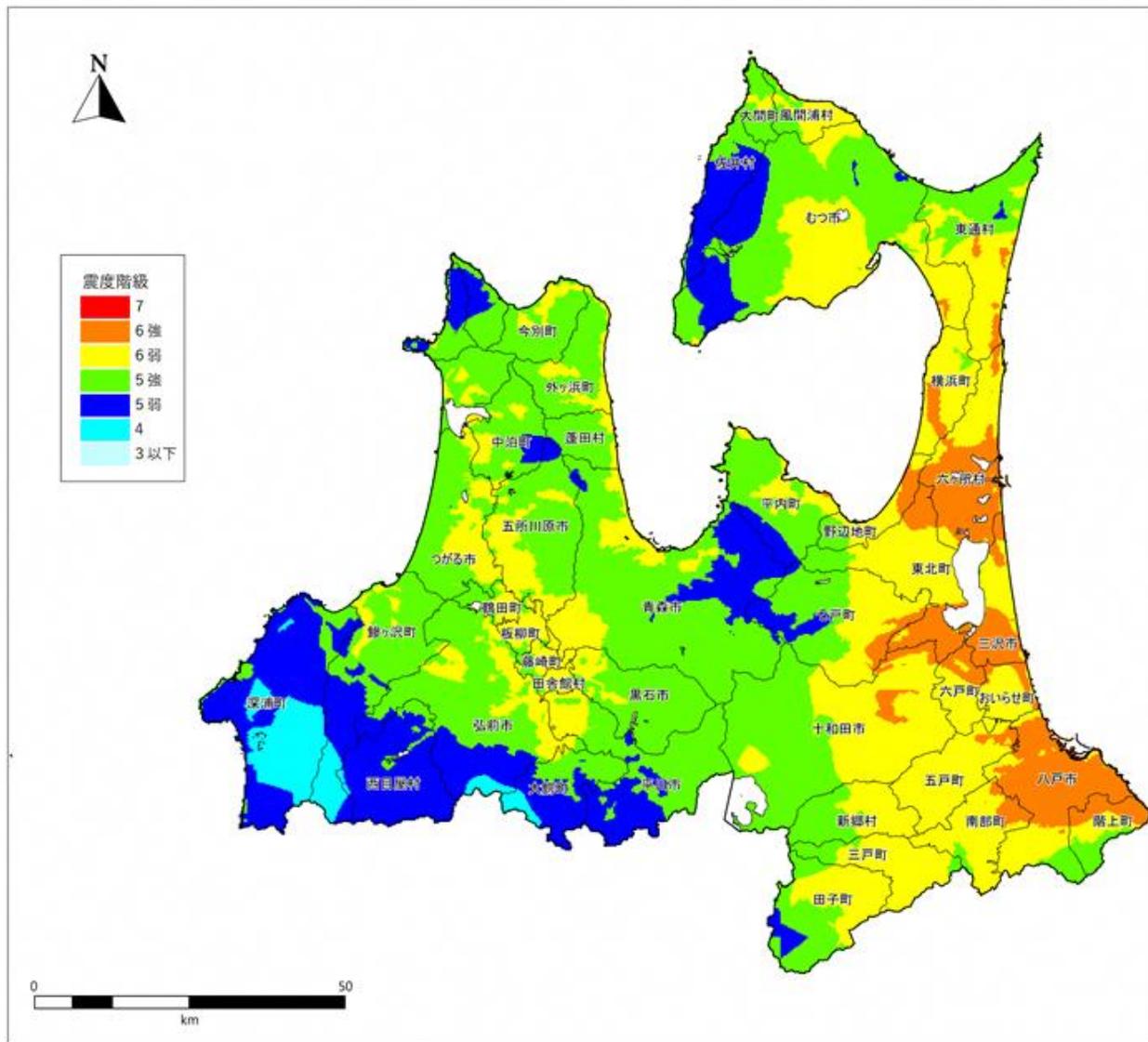
中南地域	弘前市	6弱
	黒石市	6弱
	平川市	6弱
	西目屋村	5強
	藤崎町	6弱
	大鰐町	6弱
	田舎館村	6弱

西北地域	五所川原市	6弱
	つがる市	6弱
	鱒ヶ沢町	6弱
	深浦町	5強
	板柳町	6弱
	中泊町	6弱

区分		最大震度
下北地域	むつ市	6強
	大間町	6弱
	東通村	6強
	風間浦村	6強
	佐井村	6弱

上北地域	十和田市	6強
	三沢市	6強
	野辺地町	6強
	七戸町	6強
	六戸町	6強
	横浜町	6強
	東北町	6強
	六ヶ所村	6強
	おいらせ町	6強

三八地域	八戸市	6強
	三戸町	6弱
	五戸町	6強
	田子町	6弱
	南部町	6強
	階上町	6強
	新郷村	6弱



災害想定

3 人的被害

区分		死者数				負傷者				合計
		建物倒壊	津波	火災	計	建物倒壊	津波	火災	計	
東青地域	青森市	0	20,000	0	20,000	230	3,800	0	4,030	24,030
	平内町	0	70	0	70	50	60	0	110	180
	今別町	0	130	0	130	0	70	0	70	200
	蓬田村	0	70	0	70	20	40	0	60	130
	外ヶ浜町	0	300	0	300	30	90	0	120	420
中南地域	弘前市	0	0	0	0	240	0	0	240	240
	黒石市	0	0	0	0	60	0	0	60	60
	平川市	0	0	0	0	60	0	0	60	60
	西目屋村	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	藤崎町	0	0	0	0	60	0	0	60	60
	大鰐町	0	0	0	0	10	0	0	10	10
	田舎館村	0	0	0	0	30	0	0	30	30
西北地域	五所川原市	0	0	0	0	140	0	0	140	140
	つがる市	0	0	0	0	50	0	0	50	50
	鱒ヶ沢町	0	10	0	10	10	20	0	30	40
	深浦町	0	70	0	70	0	30	0	30	100
	板柳町	0	0	0	0	50	0	0	50	50
	鶴田町	0	0	0	0	20	0	0	20	20
	中泊町	0	30	0	30	20	40	0	60	90
	下北地域	0	30	0	30	20	40	0	60	90
下北地域	むつ市	0	2,800	0	2,800	140	1,800	0	1,940	4,740
	大間町	0	300	0	300	*	50	0	50	350
	東通村	0	380	0	380	30	80	0	110	490
	風間浦村	0	370	0	370	10	40	0	50	420
	佐井村	0	70	0	70	0	20	0	20	90

区分		死者数				負傷者				合計
		建物倒壊	津波	火災	計	建物倒壊	津波	火災	計	
上北地域	十和田市	0	0	0	0	220	0	0	220	220
	三沢市	0	530	10	540	280	260	10	550	1,090
	野辺地町	0	30	0	30	40	0	0	40	70
	七戸町	0	0	0	0	100	0	0	100	100
	六戸町	0	0	0	0	30	0	0	30	30
	横浜町	0	0	0	0	20	0	0	20	20
	東北町	0	60	0	60	150	10	0	160	220
	六ヶ所村	0	850	0	850	90	200	0	290	1,140
	おいらせ町	0	1,700	0	1,700	100	190	0	290	1,990
	三八地域	0	1,700	0	1,700	100	190	0	290	1,990
三八地域	八戸市	30	16,000	110	16,140	2,200	1,900	110	4,210	20,350
	三戸町	0	0	0	0	40	0	0	40	40
	五戸町	0	0	0	0	120	0	0	120	120
	田子町	0	0	0	0	20	0	0	20	20
	南部町	0	0	0	0	130	0	0	130	130
	階上町	0	130	0	130	130	10	0	140	270
	新郷村	0	0	0	0	10	0	0	10	10
青森県	30	43,900	120	44,050	4,940	8,710	120	13,770	57,820	

3 訓練場所、参加機関

○訓練場所（予定）

県庁、保健所等、県内災害拠点病院、県内災害拠点精神科病院、県内医療機関、市町村【調整中】、社会福祉施設、高速道路岩手山SA、YSアリーナ八戸

○訓練参加機関（予定）

青森県、県内災害拠点病院、県内災害拠点精神科病院、県内医療機関、県医師会、県薬剤師会、県内各関係団体、青森県警察本部、陸上自衛隊、市町村、各消防本部、DMA T事務局、DPAT事務局、中日本航空株式会社、各協定事業者、NEXCO東日本、防災科学技術研究所 等

主な訓練項目

- 1 保健医療福祉調整本部設置・運営訓練
- 2 D M A T 参集・活動訓練等
- 3 D P A T 参集・活動訓練
- 4 避難所支援訓練
- 5 社会福祉施設関係訓練
- 6 国際医療チーム受援実働訓練
- 7 原子力災害医療訓練

各訓練の概要

1 保健医療福祉調整本部等設置・運営訓練

1 訓練内容

(1) 実災害を想定した保健医療福祉調整本部の設置・運営

- ・ 調整本部が把握したニーズを集約・整理の上、災害医療コーディネーターや統括DHEAT等と連携し、各チームや関係機関との情報連携や連絡調整を行う

(2) 保健医療福祉現地調整本部の設置・運営

- ・ 現地調整本部を保健所に設置した想定で、地域災害コーディネーター等と連携し関係機関との情報連携や連絡調整を行う

2 訓練場所

県庁（災害対策本部室、会議室等）

3 訓練参加者（予定）

県（健康医療福祉部、危機管理局、警察本部）、市町村、災害医療コーディネーター、統括DHEAT、災害時小児周産期リエゾン、災害福祉コーディネーター、自衛隊、ドクターヘリ基地病院、県医師会、日本赤十字社青森県支部コーディネートチーム、県歯科医師会、県透析医会、県薬剤師会、県看護協会、消防本部 等

2 DMAT参集・活動訓練

1 訓練内容

(1) DMAT調整本部の設置・運営

- 災害対策本部内にDMAT調整本部を設置し、被災地の状況や医療ニーズの把握や関係機関と情報共有などを行う
- 被害状況等を踏まえた病院等への支援を目的としたDMATの投入フローを立案・作成

(2) DMAT参集拠点本部・DMAT活動拠点本部の設置・運営

- DMAT参集拠点の設置・参集（病院本部との連携・調整）
- 地域内の医療機関の被害状況の把握、支援活動

(3) ロジスティックス訓練

- 新EMISを活用した被害状況等の把握を踏まえた医薬品などの物資の配分計画の立案、作成
- 患者や物資の効率的な搬送計画の立案、作成
- 提供事業者（医薬品、酸素、水、燃料等）との通信訓練

2 DMAT参集・活動訓練

2 訓練場所

- (1) 県庁（災害対策本部室）
- (2) 高速道SA（岩手山SA）、災害拠点病院、YSアリーナ八戸
- (3) 災害拠点病院、医療機関、社会福祉施設、避難所 等【調整中】

3 訓練参加者（予定）

県（健康医療福祉部、危機管理局、警察本部）、DMAT事務局（他県からのDMATも含む）、青森DMAT、中日本航空株式会社、DMAT指定医療機関、県内医療機関、県医師会、県薬剤師会、協定締結・提供団体・事業者、防災科学技術研究所、県内消防本部、陸上自衛隊 等

2 DMAT 参集・活動訓練

4 人的被害想定

医療圏名	病院種別 *1	総数	病院評価群*2		医療機関からの最大避難者		人的被害 (一般傷病者)
			0	I	0 (病床数)	I (呼吸器台数)	
津軽・西北五 医療圏	災害拠点病院	4	0	0	0	0	840
	一般病院	24	2	5	159	1	
	総数	28	2	5	159	1	
青森・下北 医療圏	災害拠点病院	4	0	0	0	0	6,560
	一般病院	18	4	5	307	0	
	総数	22	4	5	307	0	
八戸・上十三 医療圏	災害拠点病院	4	1	1	628	9	6,370
	一般病院	34	14	5	2,795	4	
	総数	38	15	6	3,423	13	

*1 災害拠点病院の分類にDMAT指定医療機関（予定）も含む

*2 病院評価群について：

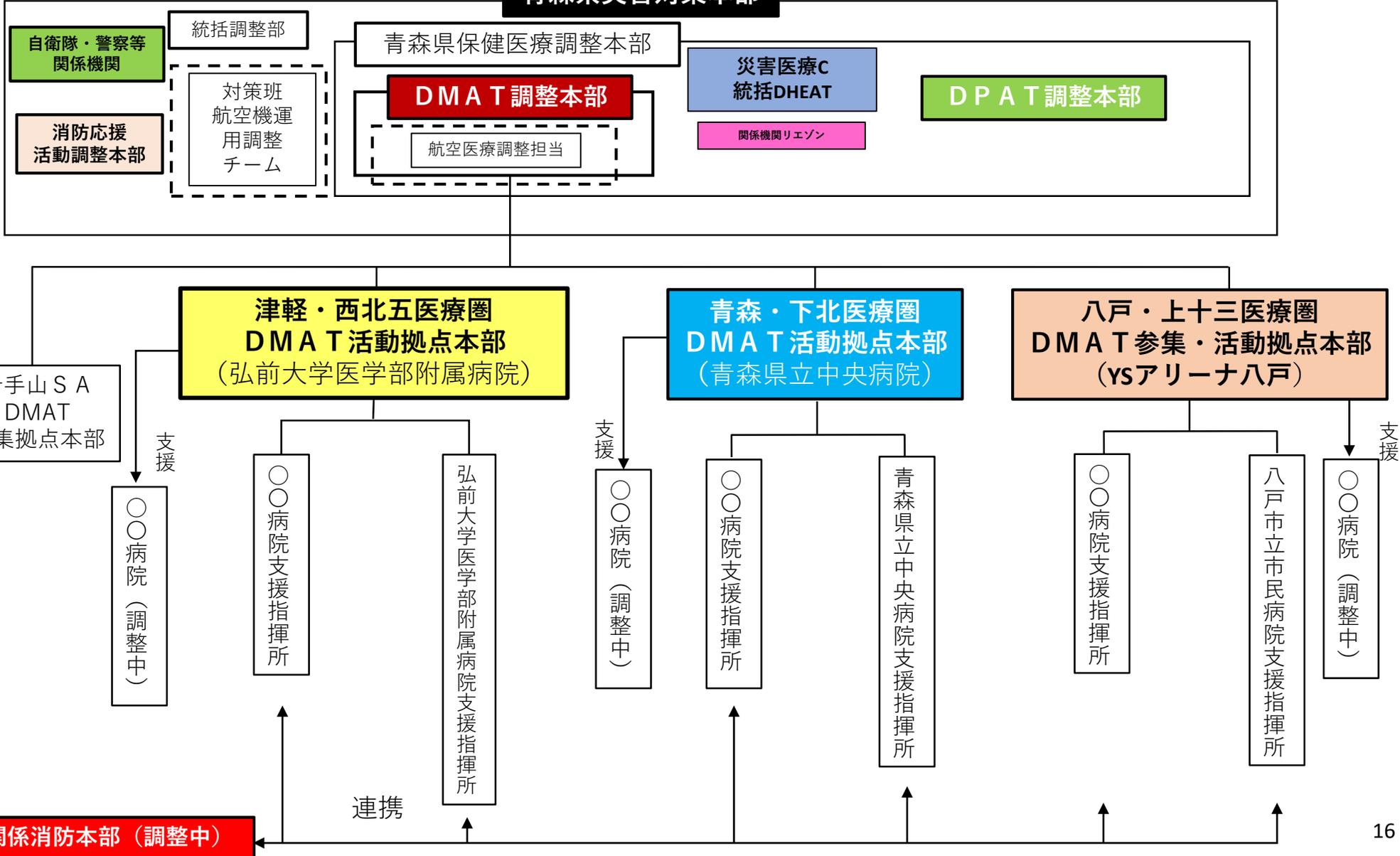
評価0 = 場の安全確保不可（倒壊や浸水のリスクが高いなど）⇒全避難の可能性のある病院

評価I = 生命機能維持不可（停電のリスクが高いなど）⇒一部避難および籠城の可能性のある病院

2 DMAT 参集・活動訓練

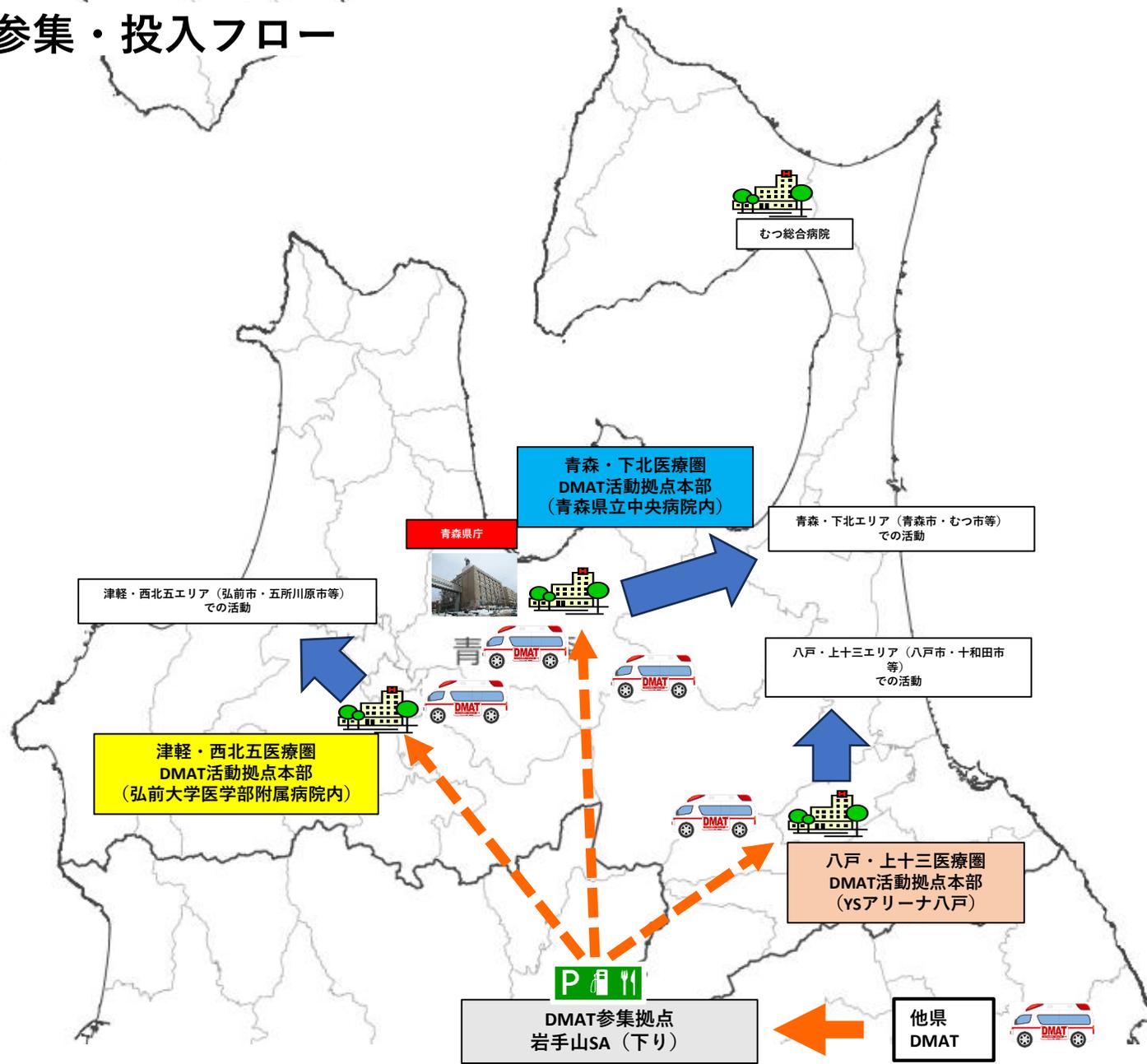
5 訓練組織図

青森県災害対策本部



2 DMAT参集・活動訓練

6 DMAT参集・投入フロー



3 DPAT参集・活動訓練

1 訓練内容

(1) DPAT調整本部の設置・運営

- ・ 災害対策本部内にDPAT調整本部を設置し、被災地の状況や医療ニーズの把握や関係機関と情報共有を行う。
- ・ 被害状況等を踏まえた精神科病院、診療所、避難所への支援を目的としたDPATの投入フローを立案・作成

(2) DPAT参集拠点本部・DPAT活動拠点本部の設置・運営

- ・ DPAT参集拠点の設置・参集（病院本部との連携・調整）
- ・ 地域内の精神科病院の被害状況の把握、支援活動

2 訓練場所

(1) 県庁（災害対策本部室）

(2) 高速道SA又は災害拠点病院、県内災害拠点精神科病院【調整中】

(3) 精神科病院、社会福祉施設、避難所 等【調整中】

3 訓練参加者（予定）

県（健康医療福祉部、危機管理局）、DPAT事務局、日本DPAT隊員（他県からの日本DPAT含む）、青森県DPAT、災害拠点精神科病院、県内精神科病院

4 避難所支援訓練

1 訓練内容

- 災害時保健医療福祉活動情報支援システム（D24H）を活用したシステム入力訓練
 - D24Hの入力訓練を主として実施する。（実際の避難所は設置しない）
 - 各災害時避難所支援チームはD24Hによりラピッドアセスメントシートの作成・報告を行い、保健医療福祉(現地)調整本部と避難所状況の共有や派遣チーム・物資等の調整を行う。

2 訓練場所

県庁（会議室等）

3 訓練参加者（予定）

県（健康医療福祉部）、青森DMAT、DPAT、災害支援ナース、青い森JRAT、DWA T、保健師チーム、薬剤師チーム、介護支援専門員協会、JDA-DAT

5 社会福祉施設関係訓練

1 訓練内容

- 高齢者施設及び障がい児者関係施設の被災状況等の把握
 - ・ 「災害時情報共有システム」を用いた、効果的な情報収集を目的とした入力訓練

2 訓練場所

県庁（災害対策本部室）

3 訓練参加者（予定）

県（健康医療福祉部）、統括D H E A T、災害福祉コーディネーター、市町村、事業者

6 国際医療チーム受援実働訓練

1 訓練内容

大規模地震時医療活動訓練を実施する令和7年9月5日（金）～6日（土）に海外の医療チームが日本へ支援に来るシナリオを想定し、患者の受入や患者搬送など実践的な訓練を行う。

2 訓練場所

県庁（机上訓練）、三沢市立三沢病院【調整中】、三沢基地

3 訓練参加者

- （1）海外医療チーム（アメリカ、台湾、韓国）
- （2）日本側機関（県（健康医療福祉部）、三沢市立三沢病院、DMAT事務局 等）

7 原子力災害医療訓練

1 訓練想定

地震と津波による被災の影響で、東北電力（株）東通村原子力発電所内で汚染傷病者が発生。東北電力（株）から、青森県庁及び関係機関に発生通報がなされ、保健医療調整本部間で情報伝達しながら関係機関へ患者受入・搬送を要請する。

また、原子力災害対策重点区域内の社会福祉施設と通信不可となり、青森県原子力災害医療調整官は情報収集のため、原子力災害総合支援センターと保健医療調整本部に社会福祉施設への派遣依頼も要請した。

2 訓練場所

県庁（災害対策本部室）ほか

3 訓練内容

- (1) 原子力災害対策医療本部設営及び運営
- (2) 原子力災害対策医療本部と保健医療調整本部間の情報伝達
- (3) 原子力発電所内で発生した被ばく汚染傷病者の搬送・医療対応調整
- (4) 原子力災害対策重点区域内の社会福祉施設避難に関する調整

7 原子力災害医療訓練

4 訓練参加機関（予定）

高度被ばく医療支援センター、原子力災害医療・総合支援センター：弘前大学

原子力災害拠点病院：青森県立中央病院、八戸市立市民病院

原子力災害医療協力機関：むつ総合病院

搬送機関：下北地域行政事務組合消防本部

原子力事業者：東北電力株式会社青森支店

県内市町村：東通村

青森県：医療薬務課、原子力安全対策課、健康医療福祉政策課

7 原子力災害医療訓練（案）

5 原子力災害医療訓練フロー

◆▶ : DMAT or 原子力災害医療
派遣チーム派遣フロー
◆▶ : オンサイト被ばく傷病者
搬送フロー
(搬送調整は公設消防を想定)

○ PAZ : 発電所から半径5キロ圏内
○ UPZ : 発電所から半径30キロ圏内

☆本訓練では放射線放出前の事象を想定
→PAZ内及びUPZ内の医療活動可能

- 東通村原子力発電所（オンサイト傷病者発生）
- PAZ内の訓練対象社会福祉施設
上：住宅型老人ホーム さくらの里
下：住宅型有料老人ホーム和あっとほーむ

